

新潟市若者支援センター「オール」事業について

1 ねらい

○若者の社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促し、若者の願いを実現するサポートをする。

※キャリア発達とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程をいう。(文科省 キャリア教育)

2 内容

※支援活動の種類によって3つに分けられる。

- (1) 自立支援 (主に個の学びを通して、キャリア発達を促す支援)
- (2) 交流支援 (主に個人と個人との交流を通してキャリア発達を促す支援)
- (3) 活動支援 (主に団体の活動を通して、キャリア発達を促す支援)

キャリア発達への観点	育てたい力
自信を持つ (自尊感情・自己肯定感)	自己理解・自己管理能力
社会性を身に付ける (社会的自立)	課題対応能力
生き方を見つける (夢や目標)	
社会に参加・参画する (参加・参画)	人間関係形成・自己管理能力
サポステのジョブトレ等	キャリアプランニング能力

【自己理解・自己管理能力】

○自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。

【課題対応能力】

○仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。

【人間関係形成・社会形成能力】

○多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成できる力。

【キャリアプランニング能力】

○「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

平成23年1月 中央教育審議会答申より